

一般研究発表1日目 5月14日(土) 10:00-12:00 文学部校舎

	第1会場：1講	第2会場：2講	第3会場：4講	第4会場：5講	第5会場：6講	第6会場：7講
10:00-10:40	カント哲学における「関心」概念の機能と位置づけ	カへの意志は成長するか——ポピュラーなニーチェ解釈を支えている意志概念を再考する	「語り得ぬもの」という語の使用	Intellectual Autonomy and Understanding	客観的世界を経験するとはどういうことか	
	木村恵子 [御子柴善之]	大山真樹 [森一郎]	山森真衣子 [土橋茂樹]	佐藤邦政 [荻原理]	岩井拓朗 [戸田剛文]	
10:40-11:20	位置の変化から関係の変化へ——カントの運動論	ニーチェの「競争」概念——他者との望ましい関係性としてニーチェが考えていたもの	ウィトゲンシュタインの「治療」における治療対象者の特徴付け	ミラーニューロンと社会哲学	誤りうる観察報告の誤りえなさ——私的約定モデル	客観的価値の存在論証
	浜田郷史 [木阪真行]	加藤之敬 [森一郎]	横野沙央理 [加地大介]	柴田健志 [森下直貴]	白川晋太郎 [中山康雄]	菅沼聡 [金杉武司]
11:20-12:00	カントにおける恒常性と自由の因果性	ニーチェ『悲劇の誕生』における「現存在Dasein」について	意味の反実在論と私的言語批判——『哲学探究』における意味論と感覚論	功利主義的肉食肯定論の批判	現象学は外在主義から何を学べるか	注視の自由という考えについて——選択の自由を反省する
	三輪泰之 [湯浅正彦]	川野美玲 [須藤訓任]	重田謙 [加地大介]	浅野幸治 [森下直貴]	富山豊 [谷徹]	壁谷彰慶 [金杉武司]

一般研究発表2日目 5月15日(日) 13:30-15:30 文学部校舎

	第1会場：1講	第2会場：2講	第3会場：4講	第4会場：6講	第5会場：7講
13:30-14:10	デカルト「第二省察」における«pronuntiatum»としてのコギトについて——メガラ・ストア的〈アクシオーマ〉概念との連関において	ヴォルフ哲学における「合成」概念について	フッサールにおける本質認識とそのアプリオリ性	ベルクソン『物質と記憶』における記憶の实在証明——实在の二条件と記憶の实在証明との関係をめぐって	
	田村歩 [鈴木泉]	飯塚一 [大橋容一郎]	松井隆明 [古賀徹]	原健一 [津崎良典]	
14:10-14:50	表出される世界のパースペクティヴ——ライプニッツにおける世界と知覚表象	一者の影——ヤコービによる「ブルーノ」からの抜き書きの思想的な意義について	個と普遍の関係とフッサール現象学における類似性	ジル・ドゥルーズ『差異と反復』における「私的な」微分学——特異なもの=単独者 (le singulier) を巡って	爆発原理をいかに正当化するか
	阿部倫子 [松田毅]	栗原隆 [長島隆]	橋詰史晶 [古賀徹]	戸澤幸作 [村上靖彦]	五十嵐涼介 [一ノ瀬正樹]
14:50-15:30	啓蒙の道徳哲学と法理論——ハチソン、ヒューム、スミス、ルソー	自我概念を伴わない主体性の構造——ヘーゲル『大論理学』「存在」概念の生成に即して	『象徴形式の哲学』における〈表情〉の問題	实在の場所——西田哲学における「場所」と「意識」をめぐって	日本語の量化表現とその論理
	上野大樹 [久米暁]	岡崎秀二郎 [石川伊織]	庄子綾 [貴成人]	Felipe Ferrari Gonçalves [上原麻有子]	飯田隆 [一ノ瀬正樹]

* []内は司会者

* 発表25分/質疑15分を目安とする。